

## ■開催内容

1. 開 会
2. 前回の振り返りと本日の進め方
3. 講話  
千葉工業大学  
建築都市環境学科 教授 鎌田 元弘
4. 懇談会形式での話し合い(ワークショップ)
  - ① 話し合い
  - ② 発表
  - ③ 全体でシール投票
5. その他
6. 閉 会



選択式を取り入れた  
本日の進め方の説明



全体でシール投票

## ■会議の概要

まず、前回の振り返りと本日の話し合いの仕方を説明。

前回の振り返りでは、単に振り返りを行うだけでなく、会議後に寄せられたさまざまな意見を紹介しました。話し合いの進め方では、班ごとに進め方を選択できるように選択肢を設けて、自由に話し合いができるよう工夫がされました。

その後、鎌田教授より、失敗と成功を繰り返すことが地域づくりです。不安や不満からのスタートでも乗り越えれば、成功がありますといった内容の講話が行われ、前回の会議に引き続き4班に分かれての懇談会形式での話し合い(ワークショップ)がスタートしました。

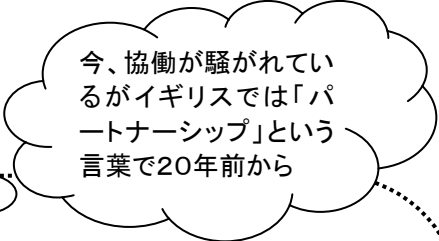
ワークショップでは、前回の会議に引き続き、地域のみんなで力を合わせて出来る『活動』を考え、10個の活動の素案が出来ました。

会議の終わりには、全体でのシール投票(大事な取り組みに赤、自分が取り組みたいものに緑)が行われ、参加者の意見の共有が行われました。

日 時：平成22年10月18日 午後7時00分から午後9時30分  
場 所：丸山公民館 大会議室  
参加者：23名(別紙 参加者名簿のとおり)

●講話(鎌田教授)

・不安や不満はいっぱいある。乗り越えるとそこに成功がある。



習志野や船橋の事例から

【知的障害者と地域の居場所づくり】

事業の概要・知的障害者の子ども達でも出来るワークショップ(壁に絵を書く)を通じて、農地にドーム型の居場所づくりや、空き店舗を活用したカフェづくりをした事例。

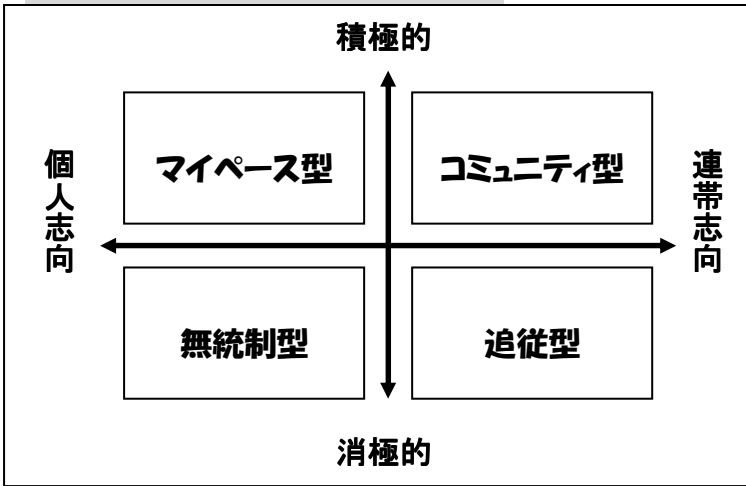
失敗談

- ①大学の中に障害者を入れるのにハードルがあった。(大きな声を出したり、泣き出したり、どこかに行ってしまうなど)
- ②ドームづくりに許認可の壁。⇒市の担当がいろいろ調整してくれて許可のできるように修正。
- ③土地を使用するのに、農家の人や近所の人反対。  
⇒毎日一生懸命活動する障害者の両親に感動して、農家の協力が得られた。どうしても反対者が納得しない場合は、不幸な人をつくってはいけないうので諦めた。
- ④借りたトイレを汚してしまい迷惑をかけた。  
⇒誠意をもって誤り、後に協力者に。

ポイント

- ①やってみる中で1つ1つクリアしていく
- ②功をあせっては失敗する
- ③失敗したら原点に戻ってワークショップ

地域の住民の方々の「思い」は様々



- ・住民は、積極的かそうでないか、連帯志向か個人志向かで分けていくと4つに分けられる。
- ・全部の人がコミュニティ型ではない。田舎では、追従型、都会では無統制型が多い。
- ・こういう様々なタイプがいる中で、地域づくりをするから大変。最初からいろいろな人がいると思っておいた方がいい。

地区やコミュニティの変化

- ・これまでのコミュニティは、リーダーがいて、結束し、行政に陳情や協力する形だった。

日時：平成22年10月18日 午後7時00分から午後9時30分  
 場所：丸山公民館 大会議室  
 参加者：23名（別紙 参加者名簿のとおり）

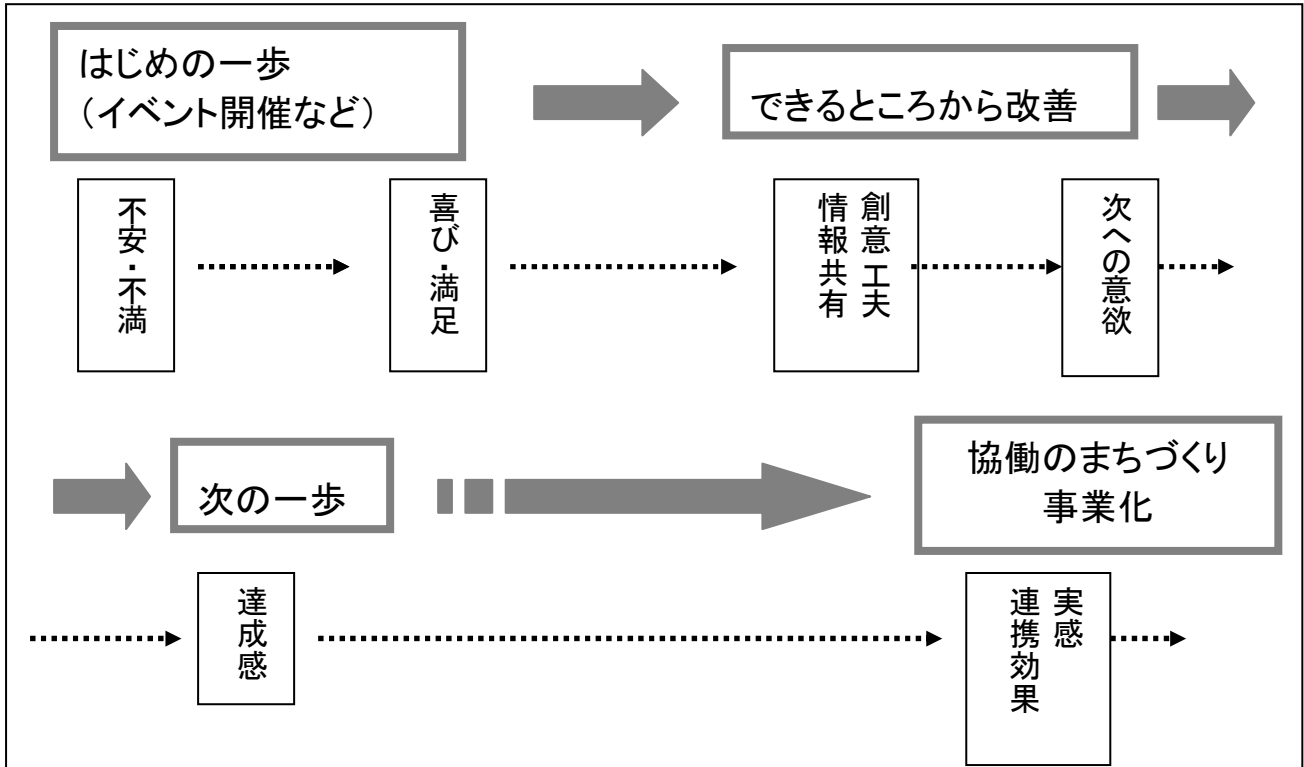
・これからは、大きい市役所から小さな市役所になるので、地域も、様々な住民の特性を繋ぎ、活かすような形(開かれた地域)でないといけない。

不安や不満からのスタートでもOK

・一歩踏み出して(活動してみて)考えていこう。白浜や和田でも悩みはあった。

・前より少しだけよくなればいいがコツ。

協働のまちづくりの発展過程



・不安や不満などからスタートするが、イベント開催などのはじめの一步から始めて、喜びを感じ、できるところから創意工夫し、達成感を得て、協働のまちづくりの事業化につながります。

まとめ

・先進事例＝成功だけではない。そこには、成功(表)と失敗(裏)がある。表と裏をうまくつなげていくことが成功の秘訣

●懇談会形式での話し合い(ワークショップ)

◆1班

【取り組みの素案】

取り組みカード

1班

農村の風景を守ること。  
移住者対策も含め、農  
地を貸してくれる人から  
さがす。

取り組みカード

1班

スポーツやイベント、ワークショップ  
を通して、地域の人達を  
集める場を作る

【発表】



- 基本的に何かやりたいといったスタンス。
- スポーツなりイベントなどで人を集めよう。集まれば次のステップがある。
- 農村風景を活かして、農業などを本気でやっていこうという人を受け入れようとする人を探していこうという意見。

【講評】

・スポーツに対して集中的に話しをして、地域の宝をスポーツや農村の景観の視点から光らせようと考えていた。

日時：平成22年10月18日 午後7時00分から午後9時30分  
場所：丸山公民館 大会議室  
参加者：23名（別紙 参加者名簿のとおり）

◆2班

【取り組みの素案】

取り組みカード 2班

**丸山のツボル**  
ローズマリー公園をスケールアップ  
する為に!!

事務局をボランティアで立ち上げ、  
農園・花畑オーナー、農業体験など  
の事業を展開し、利益をあげたい!

取り組みカード 2班

**シルバーパワーの活用と  
コミュニティの場がぜひ  
必要なので、サロンを立ち上げる**

地域の人と都会の人が集まる  
目標は 農村レストラン  
『丸山のうまい米 R410の米はうまい』

【発表】



- 丸山は宝ものがいっぱいあっていいところという前提で、その中でも班の7割が、ローズマリー公園が一番の宝だという意見だった。
- 橋の上から下を見渡して、全部ローズマリー公園だよと言えるように、事務局をボランティアで立ち上げ、農園・花畑オーナー、農業体験などの事業を展開し最終的には、利益をあげるところまでもっていききたい。
- 2つ目は、話したいという意見から、コミュニティの場づくりをしようという提案。最初はサロンから、次にサロンの片隅にカフェ、長期的には、410号沿いは米がうまいということを活かして農村レストランまでもっていききたい。

【講評】

・この班だけ、模造紙の貼り替えを行わずに話し合いが進められた。そのことで丁寧に議論ができていた。そして、2つの取り組みが、まずはこうして次にといった具合に戦略ができた。夢がもてるいいテーマだと思う。

日時：平成22年10月18日 午後7時00分から午後9時30分  
場所：丸山公民館 大会議室  
参加者：23名（別紙 参加者名簿のとおり）

◆3班

【取り組みの素案】

取り組みカード 3班

住民の交通が少しでも  
便利になるようにする為に、

- ・利用度を重視した運行ルートを
- ・「地域タクシー」を検討するのも

取り組みカード 3班

意見交換の機会を増やす為に、

- ・誰でもいつでも入れる施設が  
~青年館など
- ・若い人でも集まれるイベントを...

取り組みカード 3班

何らかの収入が得られないか

- ・一押しの  
特産品を作り出すことを  
~観光との結びつきを  
考えて...

【発表】



- 住民の交通が少しでも便利になるように 利用度を考慮した運行ルートの設定をしていきたい。山の中などは、地域タクシーなどを検討してみてもいい。
- 2つ目は、意見交換の場をつくりたいといった意見。誰でも（高齢者から若い人までが集まれる）施設がほしい。丸山の特徴を活かしたイベントが3年に1度でも出来ればという意見。
- 一押しの特産品をつくり出し観光に結びつけたい。
- 結果として、高齢者の課題の解決や医療のことにつなげていきたい。

日時：平成22年10月18日 午後7時00分から午後9時30分  
場所：丸山公民館 大会議室  
参加者：23名（別紙 参加者名簿のとおり）



【講評】

・交通、医療など難しいテーマ設定だった。こういうことは、役所に押し付けがちだが、自分たちで出来ることを考えていた。できるところから難しい課題の解決につなげようとするところがすばらしかった。



日 時：平成 22 年 10 月 18 日 午後 7 時 00 分から午後 9 時 30 分  
場 所：丸山公民館 大会議室  
参加者：23 名（別紙 参加者名簿のとおり）

◆4班

【取り組みの素案】

取り組みカード 4班

1月中旬  
農業祭に地域の  
イベントを折り込む

取り組みカード 4班

集落の集まりを  
月1回行う  
(用件は何でもよい)

取り組みカード 4班

電気サクを  
個人ではなく  
地域単位で行う

【発表】



- 地域のつながりが薄れているという課題を解決するために、まずできることとして1月の農業祭。
- すでにやっている地域もあるが集落の集まりを月1回行うということを丸山全体に広げていこうという意見。
- 耕作放棄地や有害鳥獣の被害の対策として、電気柵を個人設置から地域で設置して効率をあげようという意見が出た。

【講評】

・自助、公助、共助という考えがあるが、それを整理して自分たちが出来ることを考えていたので、具体性が4つの班でピカイチだった。話し合いの手続きがとてもいい班だった。

日時：平成22年10月18日 午後7時00分から午後9時30分  
場所：丸山公民館 大会議室  
参加者：23名（別紙 参加者名簿のとおり）



